



2月号

平成29年1月31日発行

# 荏田小だより

横浜市都筑区荏田南町694番地 [Tel 911-0149]

アドレス [http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/eda/]



ぬくもり

校長 澤田 有子

本校の冬の風物詩『どんど焼き』当日の朝、天気予報を確認する。都筑区、本日は晴天なり。が、北西の風8m/s。この風速は、海の上では白波がかなり多く現れる強さであるので、少し心配である。

点火前、消防団の皆様が、周りの田んぼの枯れ草に入念に水を撒いてくださった。そして今、点火に備えて立ち番をしてくださっている。そんな中、PTA会長による点火の合図。しまった、風上から火をつけてしまった。風下側からつけることが定石なのに。でも、つけ始めてしまったから仕方がない。火をつけながら走る、風と炎の強さを顔面に感じながら。最後にトーチを火の中に投げ入れ、役目は終わった。



日本語には、約5000種類ほどのオノマトペ(擬音語や擬態語)が存在すると言われ、  
その数は他の言語よりも多いとされています。なぜ日本語にはオノマトペが発達してきているのでしょうか。古くは「あわれ」「をかし」から始まり、日本人は深く心にしみわたるような情感を表す語を好んできたことがあげられるのではないのでしょうか。また、オノマトペは物事を簡単に、かつ情感も表せる便利な言葉でもあるのでしょうか。でも逆に考えると、感覚的表現であるので論理的に思いや考えを相手に伝えにくい面もあります。学校では、日本人としての情感を大切にしながらも論理的に考え、表現する力を身に付けられるよう今後も取り組んでいきたいと考えています。

最後は、熾火で餅焼き体験と焼き芋

ゴォー パチパチ  
ワァー めらめら



パーン バンバン  
ドーン もくもく



ビュービュー ゴォーゴォー くるり  
ひりひり ときどき タダタダダー



ほっこり ほかほか  
ふーふー もくもく

本年もPTA役員の皆様、保護者ボランティアの皆様、地域の皆様のお力で無事に『どんど焼き』を終えることができましたことに心より感謝申し上げます。子どもたちは、この日感じた「火のぬくもり」と「人のぬくもり」を記憶の小箱にそっとしまい込むことでしょう。子ども時代の懐かしい思い出の一つとして。

### お雑煮とお汁粉 凧作り



心も体もほっかほか。  
自作凧を揚げて大満足。  
(PTAの皆様)

### ゲームコーナー



恒例になったゲーム  
コーナーは大賑わい。  
(父親の会の皆様)

### フードコーナー



収益は、50周年に向けての積立金に。  
(OB・OGの皆様)

### 消防車・設備等の紹介



防火に対する意識が高まることを願って。  
(消防団の皆様)

### ストラックアウト



楽しげに何回も挑戦していた子どもたち。  
(青少年指導員の皆様)